

# 安心・安全

文化と品格を誇れる価値あるまちへ

子育て  
教育

福祉

参加  
協働

- 1 災害時要援護者対策の推進
- 2 高層マンションの防災対策の推進
- 3 巨大ターミナル池袋などでの混乱防止対策の推進
- 4 「私と私の家族を守る」地域防犯への取組み
- 5 まちの環境美化の推進



# 1 災害時要援護者対策の推進

## 【目標】

- 地域住民の手によって、災害時要援護者の安否確認や避難支援が迅速的確に行われる体制づくりが進んでいる。

## 【取組み方針】

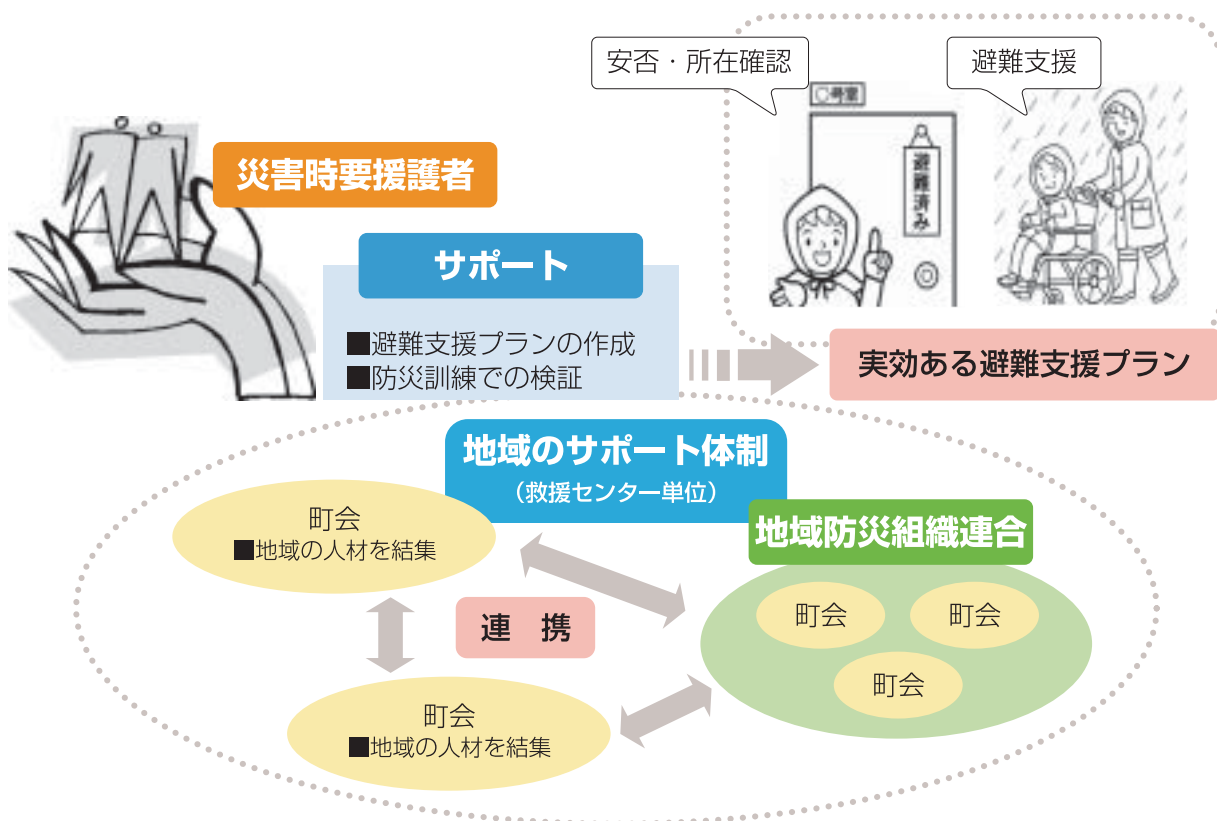
- 町会ごとに災害時要援護者の避難支援プランを作成し、災害時要援護者に対する安否確認や避難支援など、地域におけるサポート体制を確立する。
- 災害時に、町会、民生・児童委員、消防団、中学生など地域の人材を結集する仕組みをつくる。
- 災害時に実効ある支援体制を確保するため、町会同士が連携する仕組みをつくる。

## 【主な事業】

◆ 避難支援プラン作成支援	(新規)
◆ 避難支援プランを活用した防災訓練の実施	(新規)
◆ 学生、中学生など新たな人材(サポーター)の発掘	(新規)
◆ 救援センター内の近隣町会による地域防災組織連合会(仮称)の結成	(新規)

## 【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
避難支援プラン作成済み町会数	—	11町会	129町会	129町会
避難支援プランを活用した 防災訓練の実施回数	—	—	129回	129回



### 【目標】

- 高層マンション住民が災害時にも自宅での自立した生活を継続できる条件が整い、住民の自助・互助への理解が進み、マンションも含めた地域全体の安全・安心なまちづくりが進んでいる。

### 【取組み方針】

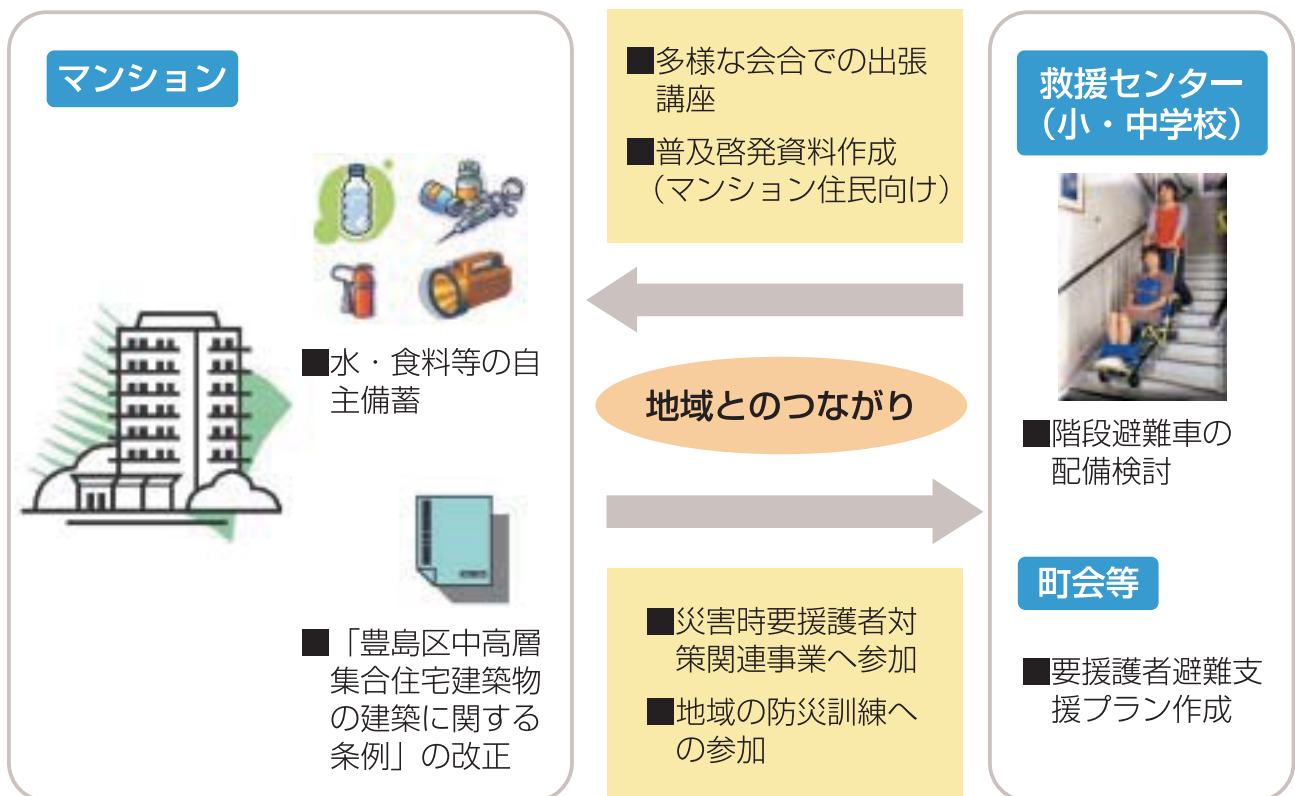
- エレベーターが停止しても自立した生活を継続できるように、マンション建設時に備蓄倉庫の設置、水・食料の自主備蓄などを指導する。
- 地域コミュニティから孤立しないよう、地域の防災訓練や災害時要援護者対策事業などへの参加を働きかける。
- 高層階住民救出のための階段避難車の配備などを検討する。

### 【主な事業】

- ◆ 建築に関する条例等を活用した防災施設等設置の義務化
- ◆ 高層マンション住民向け出張防災講座 (新規)
- ◆ 普及啓発資料の作成 (マンション住民向け、事業者向けパンフレットなど) (新規)
- ◆ 救援センターへの新たな資器材 (階段避難車等) の配備 (平成21年度以降検討)

### 【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
指導した高層マンションと町会との合同訓練実施率	—	—	100%	100%



安心・安全

### 3 巨大ターミナル池袋などでの混乱防止対策の推進

21年度事業費：5,318千円

#### 【目標】

- 池袋駅をはじめ、不特定多数の来街者が集まる鉄道駅の周辺において、平常時から鉄道事業者や商業事業者等と行政機関が連携し、災害時の混乱防止と来街者の安全を守る体制が整備されている。

#### 【取組み方針】

- 鉄道やデパート等の事業者と行政機関などの関係者により構成される「池袋駅周辺混乱防止対策協議会」において、災害時の混乱防止対策の検討を進める。
- 実効性のある対策を検討するために、協議会が中心となり、情報連絡、帰宅困難者の一時収容等の合同訓練を行う。

#### 【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾 [番号] は第7章の事業番号に対応〕

- ◆ 駅周辺混乱防止協議会における対策の検討 (拡充) 事業費は下記に含む
- ◆ 池袋駅周辺混乱防止対策訓練の実施 (拡充) 5,318千円 [229]

#### 【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
駅周辺混乱防止協議会の設置数 (駅ごと)	—	1つ	2つ以上 (池袋駅ほか)	2つ以上 (池袋駅ほか)
合同訓練の回数	—	1回	2回以上	2回以上

## 災害時でも安心・安全な池袋駅



21年度事業費：55,748千円

## 【目標】

- 区民一人ひとりの具体的な行動を通じて、犯罪被害の減少と防止が図られている。
- 犯罪発生箇所の視認性等を改善されている。

## 【取組み方針】

- 「子どもの安全対策強化」のために、保護者が自分の言葉で「取り組むべき行動」を明確にする機会をつくる。
- 「ひったくり・空き巣防止対策強化」のために、具体的な危険回避行動の定着を促進する。

## 【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾「番号」は第7章の事業番号に対応〕

◆ 青色パトロールカーの運用	(継続)	15,723千円	248
◆ 地域防犯力向上設備助成事業	(継続)	11,000千円	249
◆ 地域安全対策事業(防犯パトロールの充実)	(拡充)	29,025千円	247

## 【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年)	現在 (20年)	4年後 (24年)	目標 (27年)
「ひったくり・空き巣」 発生件数の抑制	445件	414件	400件	385件
子どもに関する事件の発生回避	13件	4件	1件	0件



【青色回転灯パトカー】

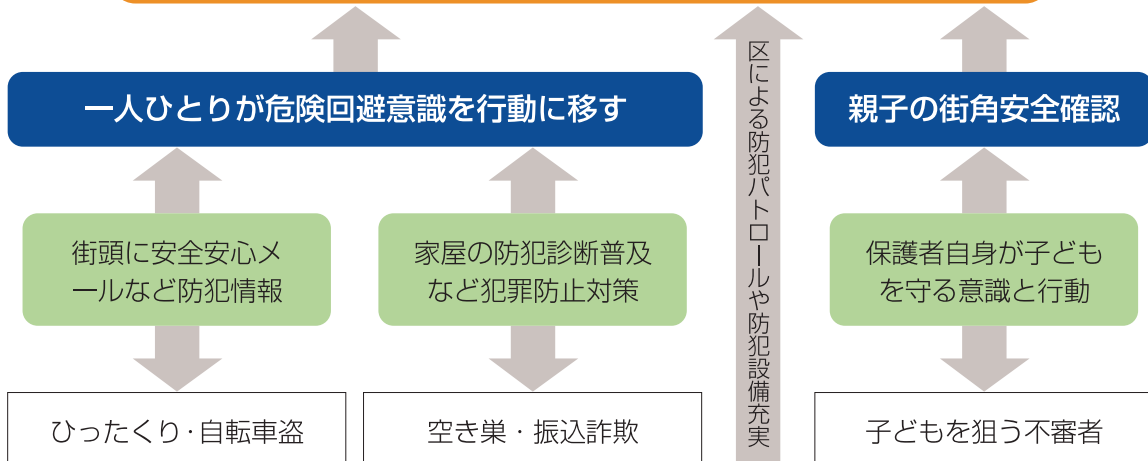


【自転車パトロール隊】



【すぐもっ子安全安心パトロール隊】

## 「私と私の家族を守る」 地域防犯の強化



## 安心・安全 **5** まちの環境美化の推進

21年度事業費：9,903千円

### 【目標】

- 環境美化・浄化活動の促進やキャンペーンの実施により、歩きたばこの火や煙、ポイ捨てによるごみの散乱などの被害をなくし、きれいで安心・安全なまちづくりが推進されている。
- ごみ集積所におけるごみの散乱など、まちの良好な環境を阻害する要因が取り除かれ、快適な都市環境となっている。

### 【取組み方針】

- 池袋駅周辺的美観を維持するため、委託による喫煙マナーPR活動に加え、周辺の企業・団体・ボランティアなどが気軽にキャンペーンや清掃活動に参加できる機会を作り、継続した啓発活動を実施する。
- 区内全域において歩行喫煙パトロールを展開し、マナー違反者の一掃を図る。
- ごみ集積所のカラス被害を防止し、景観面、衛生面からの繁華街対策に取り組む。

### 【主な事業】 〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾「番号」は第7章の事業番号に対応〕

◆ クリーンシティとしま事業	(拡充)	9,220千円	169
◆ 池袋繁華街地区カラス対策事業	(継続)	683千円	170

### 【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
歩行喫煙率	区内13駅 平均0.9%	区内13駅 平均0.6%	区内13駅 平均0.4%	区内13駅 平均0.3%
カラス被害率	47集積所 被害率 8.6%	区内集積所 被害率 3.3% 繁華街ごみ袋 被害率 17.3%	区内集積所 被害率 3.0%以下 繁華街ごみ袋 被害率 10%以下	区内集積所 被害率 2.5%以下 繁華街ごみ袋 被害率 8%以下

#### カラス対策

繁華街地域のカラス対策として、事業者に黄色いごみ袋を配付



## 区内全域歩行喫煙パトロールの実施

マナー違反者を対象に歩行喫煙パトロールを実施

店舗によるキャンペーン活動と併せ

歩きたばこNO!

池袋駅周辺

- ・駅前パトロール
- ・365日実施

地域パトロール

- ・平日245日実施

